

建築研究所ニュース



平成 23 年 6 月 2 日

東日本大震災や四川大地震の教訓を生かし、中国の構造技術者 15 名を対象とした「耐震建築研修」を 6 月から 2 ヶ月間開講します

中国の構造技術者（武漢市建設工程設計審査公室チーフエンジニア等 15 名）を対象とした第 3 期「中国耐震建築研修」を 6 月 7 日から約 2 カ月間の予定で（独）建築研究所において開講します。

今年 3 月に発生した、東日本大震災を受けて、大きな地震災害を被った日本と 3 年前に発生した四川大地震による被害を受けた中国の構造技術者が、研修を通じて交流を深めることは、今後の両国の耐震技術の発展と友好関係の構築にとって極めて重要であると考え、日本の耐震技術に関する講義に加えて、東日本大震災の被害と復興への取り組みについても紹介する予定です。

本研修によって、耐震技術に関する中国の構造技術者の理解が深まるとともに、中国国内、特に耐震対策が緊要と考えられる地方の住宅、学校、病院等の建築物について耐震技術が普及することが期待されます。

本研修は、中国四川大地震に対する日本の復興支援策の一つとして平成 21 年 5 月に開始された（独）国際協力機構（JICA）の技術協力プロジェクト「耐震建築人材育成プロジェクト」の一環として実施されるものです。（独）建築研究所・国際地震工学センターでは、過去 50 年にわたる国際地震工学研修の実績を活かし、日本での研修のうち「耐震建築の設計・診断・補強コース」（略称：中国耐震建築研修）を担当しています。平成 21 年 10～12 月および平成 22 年 6～8 月には、それぞれ中国からの 20 名の構造技術者等を対象に第 1 期および第 2 期の研修が実施されました。研修修了生は帰国後、中国国内で実施されている研修講師として活躍中です。

<参考 1：開講式の日程>

中国耐震建築研修 開講式

日時：平成 23 年 6 月 7 日（火）15:00～16:00

場所：建築研究所 2 階講堂（つくば市立原 1）

<参考 2：研修の概要>

研修期間：平成 23 年 6 月 7 日（火）～8 月 2 日（火）

場所：建築研究所

参加者：中国構造技術者 15 名

主な講義内容

東日本大震災の被害概要、耐震設計、耐震診断および補強、免震・制振構造、超高層建築など

(内容及び開講式取材の問合せ先)

独立行政法人 建築研究所

所属 国際地震工学センター

管理室長

氏名 黒澤 肇

電話 029-879-0678(直通)

E-mail kurosawa@kenken.go.jp